

『三訂 食品の消費と流通』補遺

【p.5 下から3行目～p.6 上から3行目までの記述を下記のように訂正】

訂正前

表1-2は惣菜カテゴリーの小売業態別売上高構成比を示している。この表から、総菜専門店、百貨店、総合スーパーマーケット、食料品スーパーマーケットでは米飯類と一般惣菜類の二つのカテゴリーで構成比が90%を占めている。コンビニエンスストアでは米飯類が60%以上を占め、調理パン、調理めん、一般惣菜類の合計で40%弱を占めている。

訂正後

表1-2は惣菜カテゴリーの小売業態別売上高構成比を示しており、惣菜専門店・他、百貨店、食料品スーパーマーケットでは米飯類と一般惣菜類の二つのカテゴリーで売上高の90%以上を占めている。コンビニエンスストアでは米飯類と一般惣菜の合計で70%以上の売上高を占め、また、調理パンおよび調理めんの比率は約11%を占め、他の小売業態よりも高い比率を示している。

【p.6：表1-2を下記の表に訂正】

表1-2 惣菜カテゴリーの小売業態別売上高構成

(2013年現在、単位：%，金額1,000万円)

	専門店・他	デパート	総合スーパー	食料品スーパー	CVS
米飯類(弁当・おにぎり等)	42.6	67.9	33.9	41.6	57.5
調理パン(サンドイッチ等)	0.4	4.1	6.1	1.4	10.5
調理めん	1.2	4.2	3.8	5.4	10.8
一般惣菜類(コロッケ・サラダ等)	54.8	23.5	54.2	49.5	15.2
袋物惣菜	1.0	0.3	2.0	2.1	6.0
合計(構成比)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(金額)	322,160	1,392	92,326	215,972	257,769

(注) 1.袋物惣菜は2012年から調査対象品目となっている。

2.「専門店・他」の合計金額には「デパート」におけるテナントの売上高3,579億1,000万円が含まれており、「デパート」の売上高は直営店のみの売上高が示されている。

(資料：日本惣菜協会 2015年版惣菜白書)

2016年6月作成